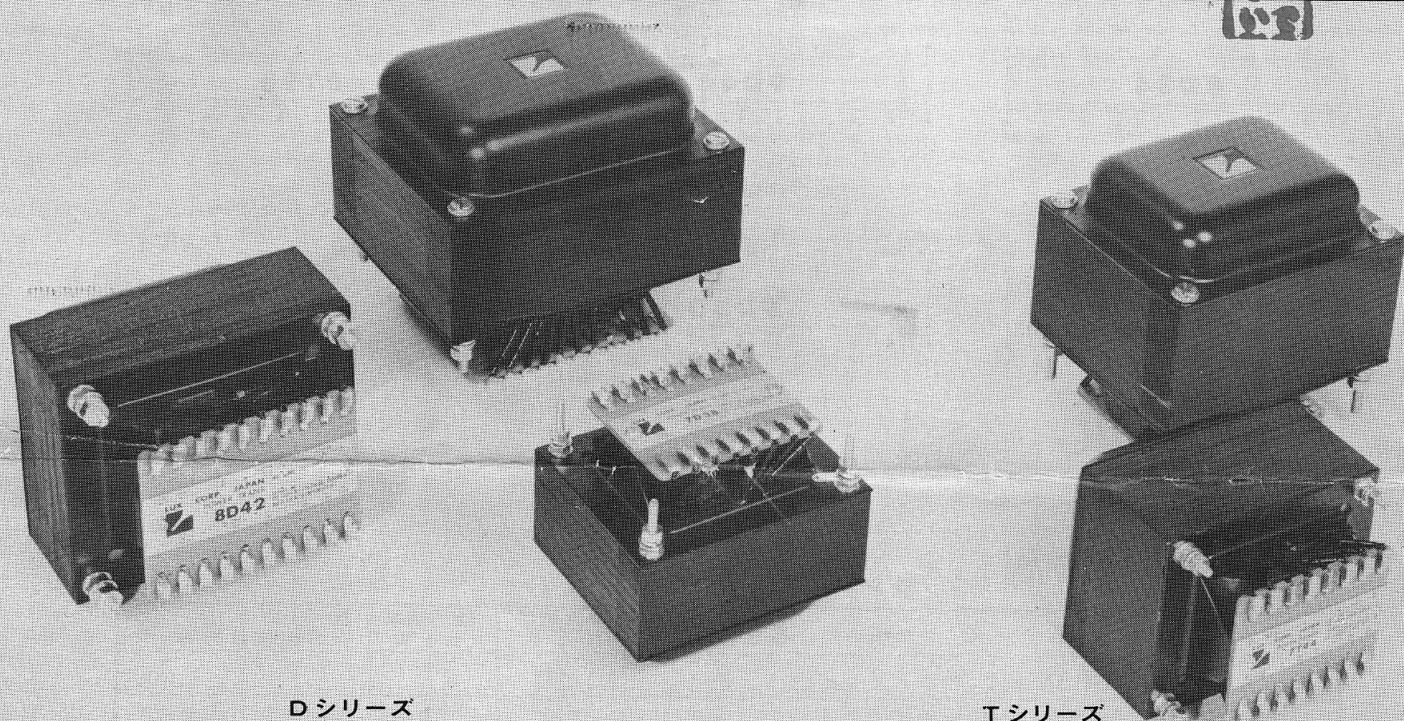


高能率パワートランス

オーディオ・アンプや通信機の整流回路にも、ようやくシリコン・ダイオードを使用するのが常識になってきました。従来のトランスは管球用に設計されていましたから、当然、ダイオード用の電源トランスが要望されることとなります。長年トランスを手がけてきた弊社では、この時代の流れに対処するべく研究を進めて参りましたが、一まづここに11種を発表することにしました。

これら一連のトランスは、内部抵抗の低いシリコン整流器の利点を最大限に活用できるよう、あらゆる面で充分に配慮されています。

定価が改正されています
価格表をご参照ください



Dシリーズ

Tシリーズ

特長

整流方式——Dシリーズ電源トランスは、利用率の高い倍電圧整流方式用に設計されています。

Tシリーズは、電力損失の少ない両波整流用に設計されています。いずれも整流器にはシリコンダイオードを使用します。

B巻線の電圧タップ——Dシリーズ電源トランスの電圧タップは、電圧の利用範囲を充分に考慮して、適切な値が選ばれていますから、ほとんどの場合、必要な電圧が的確に得られます。また、5V、7.5V、10V、12.5Vのタップが付加されていますから、これを利用するとさらに電圧の細かい調節ができます。

Tシリーズ電源トランスは、トランジスタ用に設計された品種で、ゲルマニウム・トランジスタ、シリコン・トランジスタのいずれにも、最適の電圧が供給できるようタップが設けられています。

二巻線構造の採用——Tシリーズ電圧トランスは、B巻線が二巻線構造になっているため、半波、両波、ブリッジ——いずれの整流方式にも使用することができます。

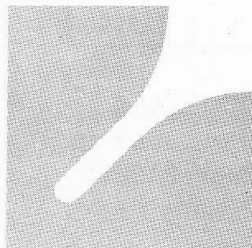
ブリアンプ用別巻線の採用——Tシリーズ電源トランスには、20V、30VのDC 100mAの別巻線が設けられていますから、PNP NPN トランジスタの混合使用も可能です。

レギュレーション——ラックスの電源トランスは、小型でしかもレギュレーションのすぐれていることが特長ですが、本シリーズでは、倍電圧整流方式の利点に加わって、結果としてさらに一段と良好なレギュレーション特性を期待できます。**小型、高性能**——本トランスは、その性能その容量からみて、非常に小型コンパクトになっています。このこと自体はともかく、性能の高度化が極限に達したところから得られた結果として、見逃せない特長になっています。

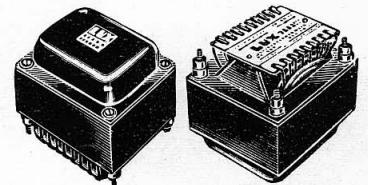
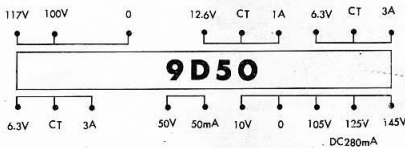
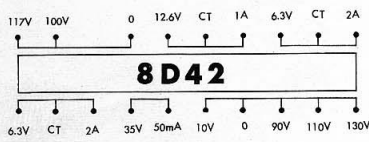
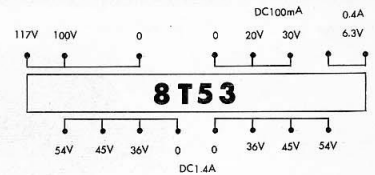
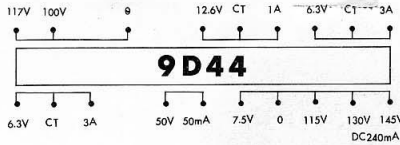
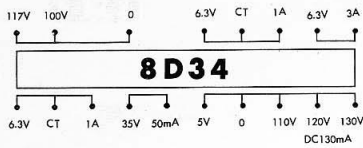
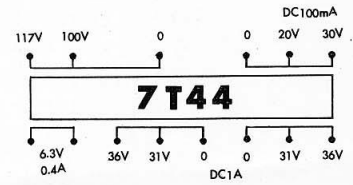
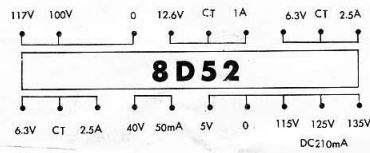
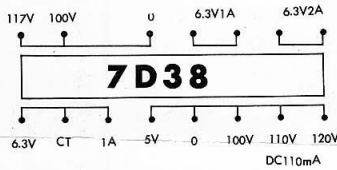
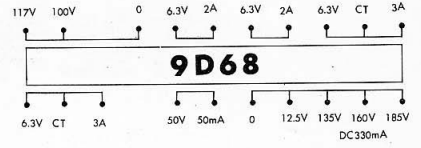
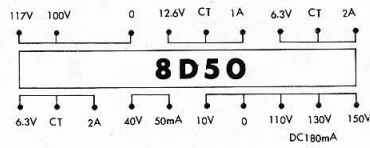
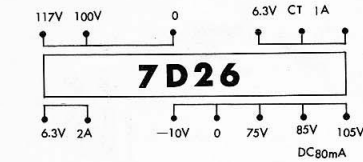
すぐれた意匠——本トランスには、一見してそれと分る、外観上のきわだった特長があります。丸味を帯びた豊かな形体と、半光沢の落ち着いた色調です。その格調のある意匠は、これを使う者に一種の誇りと信頼感を与えます。

異例の長期保証——ラックスのトランス類は、(出力トランス、チョークなども)10年間の品質が保証されています。この間に発生した自然故障に対しては、弊社において無償修理または、新品交換の責任を負います。

LUX CORPORATION



D. T シリーズ端子の配列



D シリーズ(シリコン整流用)

型番号	主 な 用 途	保護抵抗		鉄芯積厚 ±1%	重 量 kg ±5%	定 価
		Ω	W			
7D26	6BQ5. 6RA8 シングルアンプ			26	1.3	¥ 3,000
7D38	6BM8. 7591 シングルアンプ			38	1.8	—
8D34	6BQ5. 6RA8 P.P.アンプ			34	2.5	—
8D42	7591 P.P.アンプ 6BM8 P.P.ステレオアンプ			42	2.9	—
8D50	6L6GC. P.P.アンプ 6RA2 SEP. P.			50	3.3	5,000
8D52	6BQ5 P.P.ステレオアンプ 6L6GC. P.P.アンプ			52	3.4	5,300
9D44	6BQ5 6RA8. P.P.ステレオアンプ	1	1	44	4.4	—
9D50	6L6GC. P.P.ステレオアンプ 6CA7. P.P.アンプ	1	1	50	4.9	7,300
9D68	6L6GC. P.P.ステレオアンプ 6GB8. 6CA7 P.P.アンプ	4	5	68	6.3	8,200

D シリーズ電源トランスは、両波倍電圧、片波倍電圧のいずれにも使用できますが、リップルの点で両波倍電圧整流の方が有利です。

T シリーズ(トランジスタ用)

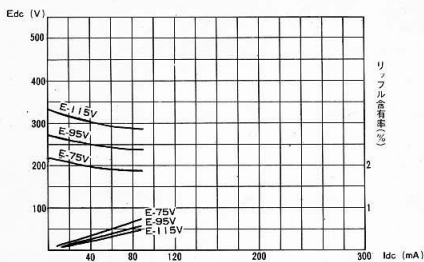
7T44	15W-20W×2(8Ω) TRアンプ用		44	2.0	3,500
8T53	30W-50W×2(8Ω) TRアンプ用		54	3.5	5,300

方式	型名	7 T 4 4	8 T 5 3
半波整流		DC 0.81A	DC 1.13A
ブリッジ整流		DC 1.17A	DC 1.64A

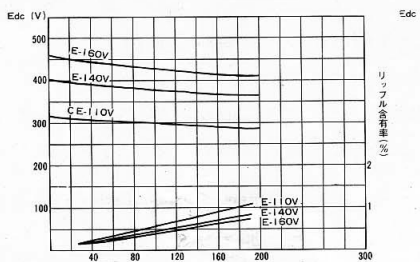
T シリーズ電源トランスは、二巻線構造になっていますから、両波、ブリッジのいずれの整流方式にも使用できますが方式によって電流値は左表のようになります。(2巻線並列にして片波整流方式も使えますが、トランスの効率ならびにリップル等の点で多少不利です。)

D.T シリーズの電圧電流特性

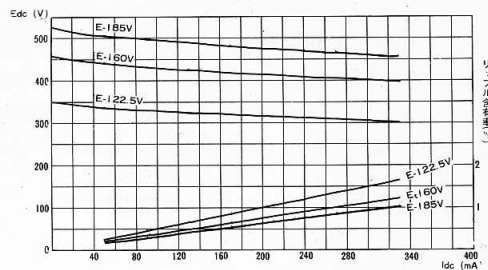
7D26



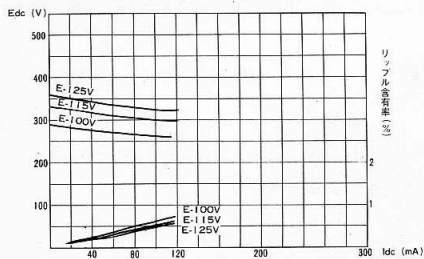
8D50



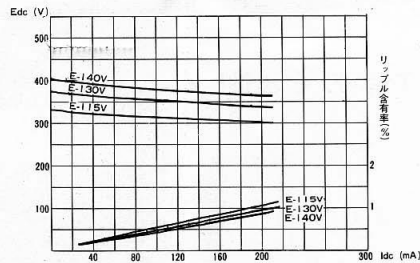
9D68



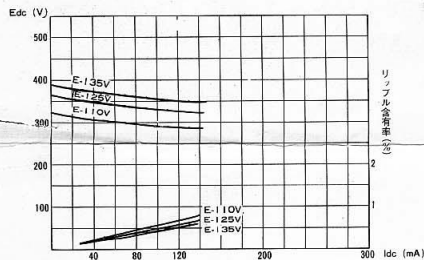
7D38



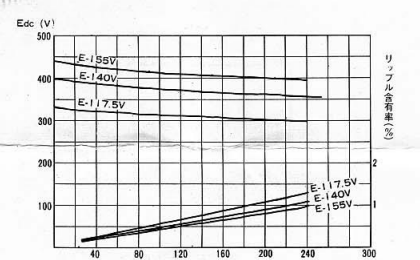
8D52



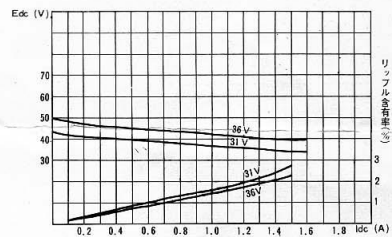
8D34



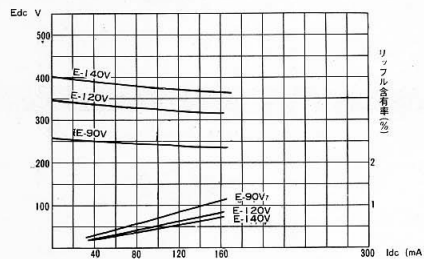
9D44



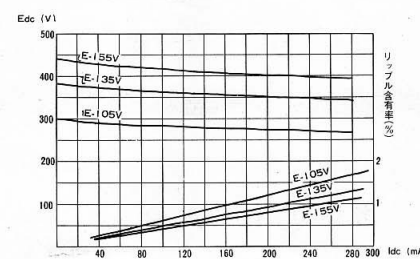
7T44



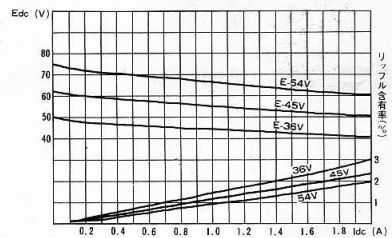
8D42



9D50



8T53

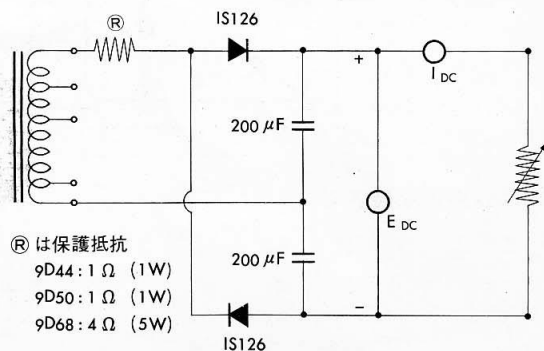


表示方法について

Dシリーズ電源トランスの電流表示は、AC値は、交流実効値、DC値は倍電圧整流後の直流電流値です。

Tシリーズ電源トランスの電流表示は、両波整流後の電流値です。此の際のAC電流値は両巻線を直列にした場合の値です。トランジスタ・アンプの場合は殆どB class ppのため、入力信号の大小によって電源電流が大巾に変化します。トランスの電流制限は発熱を考慮して定められていますから、短期間のオーバーロードは大巾に許容されます。従って信号がミュージックその他のプログラムソースによるときは使用中の平均電流値が表示の電流値を越えなければよいものご理解下さい。

測定回路



Ⓡは保護抵抗
 9D44: 1Ω (1W)
 9D50: 1Ω (1W)
 9D68: 4Ω (5W)

使用方法

保護抵抗——一般のコンデンサーインプット型整流回路には、図表中に示した(最小値)保護抵抗を挿入してください。

シリコン整流器——シリコン整流器は過負荷がかかると瞬時に破損してしまいます。したがって、尖頭逆耐電圧は、トランス表示電圧値の3.1倍以上のものをお選びください。

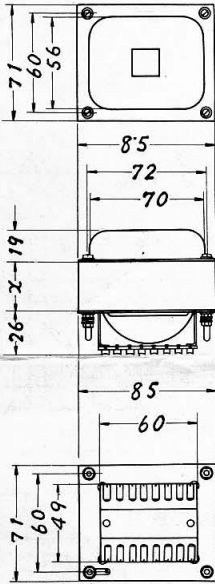
シリコン整流器の整流電流値は、通常40°C~50°Cの温度が前提になっていますから、管球式のアンプなどで器内温度がこの値より高くなる可能性のある場合は、電流量に余裕のあるものをお選びください。

温度上昇について——定格による駆動時の、トランス自体の温度上昇は、60%電源で45°C以内、50%で約50°C以内になっています。したがって実際の使用時は、この温度が加わります。

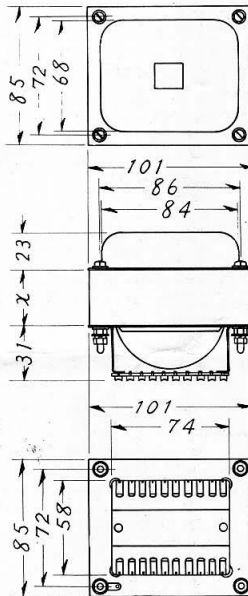
例えば、周囲温度が40°Cのとき、50%の電源で連続使用しますと、90°Cになります。これは可成りの過熱状態ですが、周囲温度から推して、正常な温度上昇といえます。この温度上昇は105°Cまで許容できます。

D.T型の寸法図

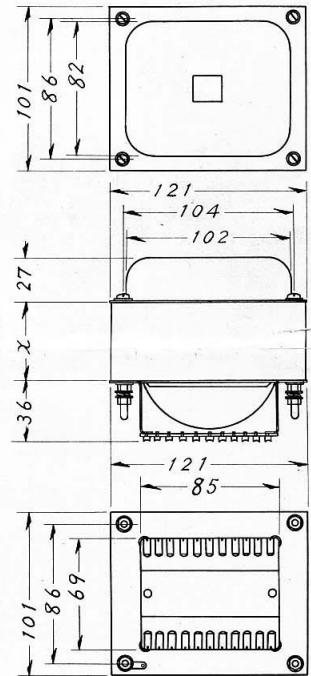
単位はいずれも%、X間の寸法は別表の鉄芯積厚寸法欄をご覧ください。



(7D, 7T型)



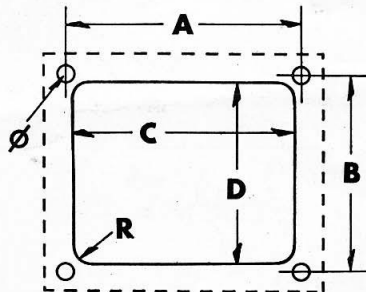
(8D, 8T型)



(9D型)

取付穴寸法

単位%



	7D型 7T型	8D型 8T型	9D型
A	72	86	104
B	60	72	86
C	65	77	89
D	54	63	74
R	3R	3R	3R
φ	4~5	4~6	4~6

お求めは誠実な当店で

株式会社

本社 大阪市西成区長橋通2丁目22番06(632)0031(代)
 東京支社 東京都文京区湯島2丁目23-13番03(833)7691(代)
 大阪営業所 大阪市浪速区東関谷町1丁目1番06(643)1321(代)
 福岡営業所 福岡市博多駅前2丁目19(博多相互ビル4階)番092(43)7528
 広島営業所 広島市祇園町長東823番0822(39)1123
 名古屋営業所 名古屋千種区藤見ヶ丘46(藤ヶ丘ビル1階)番052(771)1524
 仙台営業所 仙台市大和町1-60番0222(92)0906
 札幌営業所 北海道札幌市琴似1条4丁目番011(641)2271

*規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。